扶桑薬品工業株式会社　News Release

2020年5月18日

各位

扶桑薬品工業、腎性貧血治療薬バダデュスタット（HIF-PH阻害剤）に関する透析領域におけるコ・プロモーション契約を田辺三菱製薬と締結

扶桑薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：戸田幹雄、以下、扶桑薬品工業）はこのたび、田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：上野 裕明、以下、田辺三菱製薬）との間で田辺三菱製薬が現在、腎性貧血を適応症として厚生労働省に承認申請中である低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素（Hypoxia Inducible Factor Prolyl Hydroxylase; HIF-PH）阻害剤 MT-6548（一般名：Vadadustat：バダデュスタット）について、承認取得後に、透析領域においてコ・プロモーションを実施する契約を5月7日に締結しましたので、お知らせします。

バダデュスタットの製造販売は田辺三菱製薬が行い、透析領域に関する医療機関への情報提供活動は扶桑薬品工業と田辺三菱製薬が共同で行います。

扶桑薬品工業は、この機会を重点領域である腎・透析領域でのプレゼンスを高める提携と位置づけ、「バダデュスタット」の積極的なプロモーションを通して、透析前の保存期および、腹膜透析、血液透析患者さんの腎性貧血治療に貢献してまいります。

扶桑薬品工業株式会社　総務本部
（お問い合わせ先）　TEL:06-6969-1131　総務部

◆バダデュスタット（Vadadustat）について

バダデュスタットは、慢性腎臓病による貧血の治療のための経口低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素（HIF-PH）阻害剤です。バダデュスタットは、高地での緩やかな酸素濃度の低下時に、人体が自然に適応する際に用いられる低酸素状態の改善と同じメカニズムで働きます。人体は高地における低酸素状態では、HIFの産生を上昇させます。当該HIFは鉄の動員とエリスロポエチン（Erythropoietin; EPO）産生の相互依存的プロセスを調整することで赤血球の産生を高め、最終的に酸素運搬を改善します。